

暗唱週間

【対象生徒】 高等部1～3年

【時間設定】・毎年、年2回の暗唱週間を設定。
・期間中、(月)～(金)の朝学習の時間に練習し、
最終日の(金)6校時に発表会を実施する。

【自立活動の項目】心(3)、環(1)(3)、コ(3)(4)

【取組の目標】

- ・正しい日本語や豊かな手話表現を身に付ける。
- ・他の人の発表を聞く態度を養う。
- ・自分の発表を振り返り、次のレベルを目指す。

【取組のポイント】

- ・身に付けたい表現や言葉が含まれている評論文などの文章を選定する。(500～700字程度)
- ・目標シートを記入することで、暗記、発音・口形、手話表現への意識付けを促す。→①
- ・弁論大会への橋渡しとなるように段階的に実施する。
- ・ロイロノートを活用した評価のフィードバックをする。
→②Googleフォームで実施、③講評



① 暗唱週間・暗唱発表会 目標シート

課題文「杵を壊して自由に生きる」 著者石黒 浩

【暗唱】どこまで覚えるか、そのためにどのような練習や工夫をするのか。

- ・限られた時間の中で時間を作り、一文ずつ暗記して話せるようにする。
- ・また内容を頭に思い浮かべながら話す。

【聴衆により伝わるために心がけること】声量、発音、口形、手話、向きなどより伝わりやすくなるよう、言葉の意味に合った適切な手話表現を考え、工夫する。

- ・また感情を込めて話す。

- ・暗記、話し方・発音、手話の3観点で評価し合う。②
- 発表後に、国語科教員、言語聴覚士、聴覚障害教職員からそれぞれの観点について講評を聞く。③

【生徒の様子】

- ・暗唱期間中、課題文の言葉の意味を調べたり教師に尋ねたりしながら、話し方や手話表現などを自ら工夫する姿が見られた。
- ・聞き手に伝わるよう、音声も手話もメリハリをつけてゆっくり話すことを意識するようになった。

【生徒の感想】

「言葉の意味が曖昧なところを調べて、意味を理解して表現できた。正しい日本語を知ることが、将来のコミュニケーションにつながると思う。」